

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成20年12月26日

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	2772600587
法人名	社会福祉法人 三養福祉会
事業所名	サンホーム桑才
所在地	門真市大字桑才159-1 (電話) 072-887-7766

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成20年12月10日

【情報提供票より】(平成20年11月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成14年6月1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	29人	常勤	4人, 非常勤 25人, 常勤換算 29人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3階建ての	1階 ~	3階部分

### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	36,000円	
敷金	有 (150,000円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (150,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	240円	昼食	400円
	夕食	450円	おやつ	46円
	または1日当たり		円	

### (4) 利用者の概要 (平成20年11月20日現在)

利用者人数	26名	男性	7名	女性	19名
要介護1	2名	要介護2	9名		
要介護3	10名	要介護4	4名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	75歳	最高	96歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本蒼生会蒼生病院、福森胃腸科放射線科、中塚歯科
---------	--------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームの母体である社会福祉法人は若く柔軟な発想を持つ現理事長により平成10年に開設され、介護保険制度開始と同時に種々の介護保険サービスが提供できるように整備されています。当ホームは法人事務所近くの住宅地域に設置され、周辺住民の温かい理解と支援を受けています。地域交流会やお祭りなどへの参加、デイサービスや介護予防教室への参加、買い物や周辺散歩等、出かける機会が多くあります。利用者の意向を大切に、ゆったりとした生活支援を心がけながらも、毎日入浴ができるように準備をする、リサイクル作品作りや物忘れ防止に「くもん」を活用した取り組みを行うなどの場を提供して利用者に喜ばれています。また、同法人施設の協力を得て24時間医療連携支援を行なう、運営推進会議を定期開催して開かれたホーム運営をしている、研修に力を入れて職員育成に尽力している等、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいるホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	前回評価での改善課題は2項目でした。内容は①預かり金の収支報告方法について②玄関に鍵をかけない支援についてです。この1年、職員間で課題を共有し、利用者家族にも相談しながら改善に取り組み、現在は①について改善をしています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は外部評価の意義を理解した上で改善に取り組んでいます。自己評価票作成については管理者とユニットリーダーが協力して職員の意見を聞き反映しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	主な討議内容は1) ホームからの活動報告(地域包括主催のレクリエーション生活リハビリへの参加・ホームの6周年記念祭報告・モニター映像設置について・納涼祭、地域交流会、敬老祝賀会報告等) 2) 今後の事業予定(地域文化祭への参加と展示作品の出品について・外部評価受審について・地域の秋祭り、法人主催の合同遠足について・防災実施訓練の準備等) 3) 意見交換(家族からの意見としてモニター映像設置で見守り強化して頂くことはありがたい・秋祭りにお神輿の到着時間を確認するなど事前準備をしっかりと行うように・遠足に適した場所の提案等) 4) 地域包括支援センター主催の介護予防教室参加案内、等です。ホームでは意見を反映した取り組みをしています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	家族の来訪時は利用者の様子を報告し、意見や希望を聞くようにしています。急な体調の変化や連絡事項についてはその都度電話等で連絡しています。毎月1回、利用者の体調や日常の様子を記載し、個別の金銭出納状況とともに家族へ送付しています。また3ヶ月に1回「サンホームだより」を発行し送付しています。小口現金預り分の収支については家族が来られた時に説明をして了承サインを得ています。職員の異動や新人職員紹介については口頭で説明しています。ホーム内に意見箱を設置する、運営推進会議では家族意見を重視するなどしてホーム運営に活かしています。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○ <b>地域密着型サービスとしての理念</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム理念には「地域の中で自立と尊厳を大切に」と表現し、利用者が地域の人々とふれ合う機会を持ち、地域社会の一員として認識された暮らしができるように支援する方針を明確にしています。		
2	2	○ <b>理念の共有と日々の取り組み</b> 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は利用者の直筆で作成され、ホーム玄関に掲示し共有しています。管理者と職員は共に協力して作り上げた理念を大切にし、毎日のミーティングで確認しながら日々の支援に活かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ <b>地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	設立当初は地域との交流が少ない時期もありましたが、日常的なかかわりを通じて近隣の人々から理解され、温かい支援を受けるようになりました。自治会からの支援を受けて、お祭りなどの地域行事へ参加したり、ホーム行事に地域から参加されたり、相互の理解と交流が深まっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	管理者は職員が外部評価の意義を理解するように会議等で説明し、職員は外部評価の意義を理解した上で改善等に取り組んでいます。自己評価票作成については管理者とユニットリーダーが協力して、職員の意見を聞き反映しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の規定を定め2ヶ月に1回、年6回開催しています。会議記録は整理し参加者、職員間で共有しています。会議には利用者家族代表・地域代表も出席され、地域行事やホーム運営についての積極的な討議がなされています。会議で出された意見については業務に反映しサービス向上を図っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問点や相談事項があれば市担当者に問い合わせる、相談するなどして助言を受けサービス向上に努めています。また相互に必要な情報交換も行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が来られたら利用者の様子を報告しています。急な体調の変化や連絡事項についてはその都度電話等で連絡しています。毎月1回、利用者の体調や日常の様子を記載し、個別の金銭出納状況とともに家族へ送付しています。また3ヶ月に1回「サンホームだより」を発行し送付しています。小口現金預かり分については家族が来られた時に説明をして了承サインをもらっています。職員の異動や新入職員の紹介については口頭で説明をしていますが、ユニット内に職員の写真等を掲載するとさらに分かりやすいのではないのでしょうか。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が来られたら意見や希望等を聞くようにしています。また、ホーム内に意見箱を設置し、意見を出しやすくしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の交代はありましたが、利用者に負担がかからないよう、必ず慣れた職員と合わせて配置するようにしています。新人職員を迎える場合には利用者との馴染める時間を十分に作って、利用者が安心して支援を受けられるよう配慮しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤務時間を調整し、職員が研修を受けられるように配慮しています。外部研修へ積極的に参加し、内部研修にも力を入れています。認知症の接遇、感染症予防、応急手当等を含む研修を通年的に行い、より多くの職員が参加できるように配慮しています。また、職員の資格取得についても推奨しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、管理者や職員が地域の同業者連絡会や研修会に積極的に参加し相互研鑽を行いながらサービスの質の向上を推進するように援助しています。また運営者は、サービスの質の向上を図ることを目的とする同業者との連携の必要性を強く認識し、管理者が大阪認知症高齢者グループホーム協議会定例会等に積極的に参加できるように支援しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者本人が納得してサービスを利用できるように施設見学を勧めています。また、見学時にはすでに入居している利用者と一緒にお茶を飲みながら交流できる時間を設けるなど、互いが馴染めるような配慮をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は家事や菜園づくり、慣習など利用者に学ぶことが多くあります。また、食事の味付けや献立など利用者からアドバイスを受けることもあります。一緒に過ごすことで慰められたり、誕生日や長寿を喜び合ったりして支え合う関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は利用者と対話して、一人ひとりの希望や思いを理解した上で支援するようにしています。職員は利用者が意見や要望を出しやすいように、一人ひとりの対応を丁寧に行うようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画書の作成にあたってはアセスメントを行い、家族の願いや利用者の求めていることを反映するようにしています。介護計画書は利用者、家族等への説明を行った上で了承サイン、押印をもらっています。介護計画書は全職員に回覧し共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月から6ヶ月毎に介護計画書の見直しを行っています。見直し時期以外にも必要があれば見直しを行い、利用者の変化に応じた介護計画書を作成しています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録を残しています。職員は月1回程度のサービス検討会議を行い、計画が適切であったか、計画通りの支援が行えているかどうかを確認しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人所属の看護師、提携医療機関が連携して24時間医療連携支援を行っています。また、同法人運営のデイサービスセンターや特別養護老人ホーム等と連携を図り、利用者の運動機能の向上に努めています。さらに利用者が特別養護老人ホームで行っている外部講師によるリサイクルを主とした物作り教室に毎回参加できるように支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望を尊重した対応をしています。受診方法や結果の報告、共有などについても利用者・家族の希望に添った支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族の希望を尊重して終末期支援を行うという方針を明確にしています。入居時から支援方針を説明して、受け入れ準備はしていますが、今のところ対象者はなく支援経験はありません。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを大切にされた接遇をしています。記録等の表現は丁寧で適切な内容にしています。個人情報の取り扱いについては記録等の保管を厳重にすると同時に、職員採用時の契約事項として守秘義務の徹底を行い、職員のサイン・押印を得ています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの大まかな日課はありますが、利用者の希望を確認しながら支援しています。利用者一人ひとりが自分のペースで、好きなことができるように配慮しています。希望が出しにくい場合には表情等を見て配慮しています。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食品会社との提携で毎日1回の食材配送を受けています。冷凍野菜等は使わず、新鮮な野菜や果物、肉類を使用しています。同じ食材を使っても献立は利用者の希望でユニット毎に違いがあります。利用者は調理の下ごしらえ、味付け、配膳、片付け、洗い物など、それぞれが得意なことやしたいことに参加されています。食事作り等に参加されない方もいますが、皆で食べることを楽しんでいます。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日風呂を沸かして入浴ができるようにしています。利用者は毎日のように入浴されていますが、中には入浴を好まれない方もおられます。「着替えをしましょう」と誘ってお風呂に行くと、気が変ってそのまま入浴をされることが多くあります。職員は無理に誘導せず楽しい気分で入浴ができるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	好きな歌をカラオケで歌う、散歩や外出をする、買物に出かける、同法人施設のデイサービスに参加しリサイクル作品作り楽しむ、リハビリに出かける、ちぎり絵を描く、食事作りや家事で活躍する、外食に行くなど、それぞれの楽しみ事は違いますが一人ひとりが得意なことで役割を持ち、楽しみ事を持って過ごされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	同法人特養で行うアクティビティ活動に月2回参加、週2回リハビリ指導を受けに外出、近くの神社や公園散歩、コンビニやスーパーへ買物、外へ出て近所の方と会話を楽しむ、美容院へ出かけるなど外出の機会は多くあります。外出の希望が少ない利用者でも週1回程度は外出をされています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	各ユニットの玄関には鍵をかけていませんが、各階のエレベーターには鍵をかけており自由に利用することはできません。また、1階の総合玄関には終日鍵を掛けています。鍵をかけることについては全利用者の家族に相談をして意見を聞いています。その結果「利用者の安全のために日中も総合玄関に鍵をかけておく」との結論に至っています。	○	利用者の安全を守りながらエレベーターや総合玄関に鍵をかけない工夫が求められます。当面は安全性を検討した上で各階エレベーターの鍵を外すことから取り組まれてはいかがでしょうか。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策の手順書を作成し消防署の協力を得て年1回の防災避難訓練を行っています。さらにホーム独自で年に1回避難訓練を行い、外階段を使って外へ出る実習等を行っています。非常時には近くの同法人施設から支援体制も組まれています。災害発生時に使用できるように非常食と水をホーム内に保管しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスの取れた食材の配送を受け献立を作成しています。食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は一日を通じて把握しています。水分不足にならないように好きな飲み物を十分に摂取できるよう支援しています。食事は利用者一人ひとりの好みに合わせて食べやすく調理するなどの工夫をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部分は明るくゆったりとしています。居間にはソファを置き、くつろぐスペースを設けています。玄関横にはイスやソファを置き利用者が休みながら行動できるように配慮しています。また、空調を適切に行い、過ごしやすい環境づくりをしています。窓やベランダからの景観が良く、庭のみかんや無花果が実るのを確認したり、庭園風景を眺めたりして楽しむことができます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者は居室に机やイス、仏壇、タンス、ドレスかけ、テレビ、時計、冷蔵庫など馴染みの家具を置き、手作り作品や写真を飾るなどして、それぞれが個性的で落ち着いた居室にしています。室温は自由に調節することができ、トイレも室内に設置されており快適に過ごせるようになっています。</p>		